

ロープウェイに乗って

Let's Enjoy Mt.HAKODATE!

フワフワキドキさあ、出発!

函館山を楽しもう!!

函館山ロープウェイについて知ろう! どうやって動いているのかな?

ロープウェイの種類

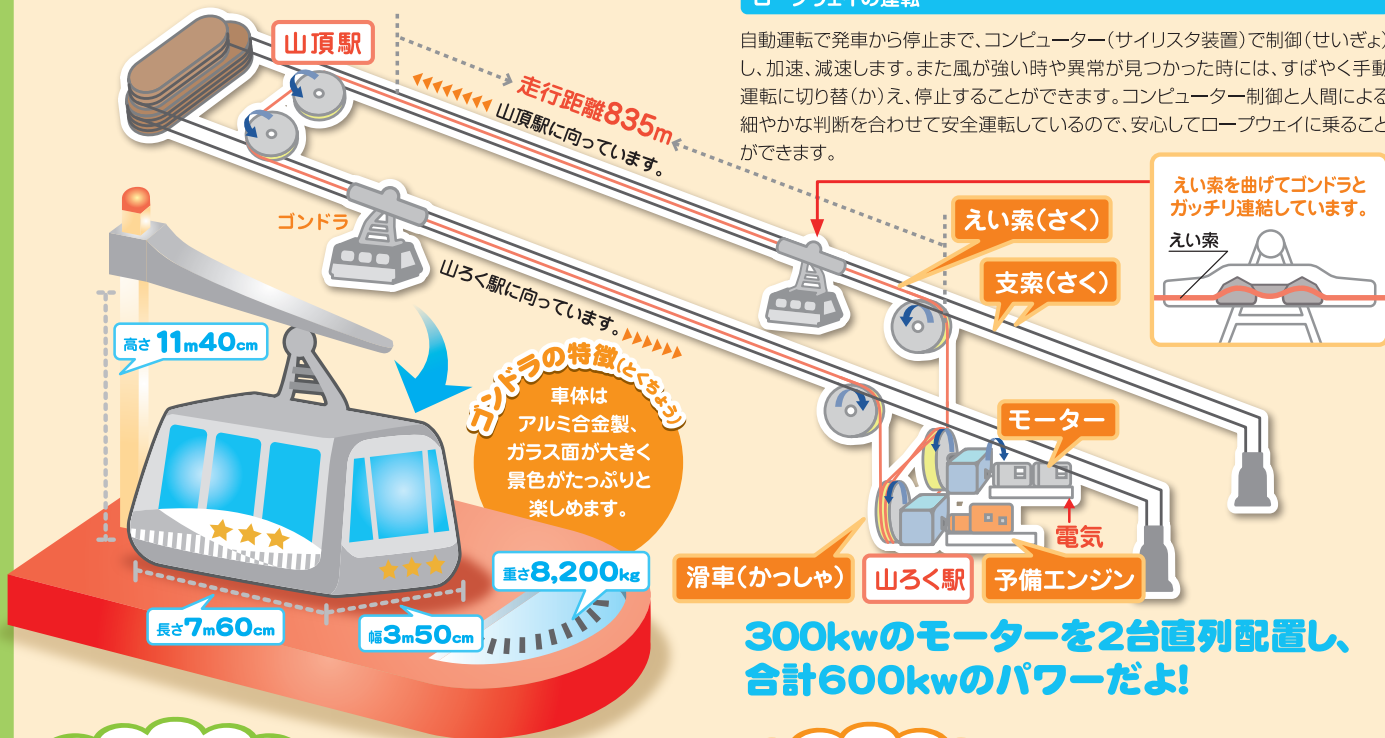
三線交走式ロープウェイといい、えい索と呼ばれるゴンドラを引っ張る1本のロープと、そのロープの両側に支索と呼ばれる電車のレールと同じ役割をする2本のロープからなります。また、えい索に連結された2台のゴンドラは、交互に上り下りします。

ロープウェイが動くしくみ

電気エネルギーでモーターを動かし、大きな滑車を回転させて、えい索を動かします。モーターの回転方向の逆逆により、一本の輪になっているえい索に連結されたゴンドラは、山ろく、山頂間を上り下りします。

ロープウェイの運転

自動運転で発車から停止まで、コンピューター(サイリスタ装置)で制御(せいぎょ)し、加速、減速します。また風が強い時や異常が見つかった時には、すばやく手動運転に切り替(か)え、停止することができます。コンピューター制御と人間による細やかな判断を合わせて安全運転しているの、安心してロープウェイに乗ることができます。



ゴンドラの不思議な感覚を体験しよう!

上りは山肌(はだ)を一気に駆(か)け上がり、鳥になった気分であ空散歩。また下りはジェットコースターのような感じで山肌を滑(すべ)り降ります。ゴンドラ内から、ぐるりと360度の景色を楽しんでください。

安全第一!!

ロープウェイの点検作業

天候が悪くても午前と午後1往復ずつ、ゴンドラの1番高いところで人が乗って点検しています。何をしているのかと言うと、走行中異常がないか、目、耳、体で感じて点検しています。テレビで何度も紹介(しょうかい)されました。すれ違(ちが)うゴンドラや展望台から探して見てね!

函館山の特徴(とくちょう)と生(お)い立(た)ち

函館山は標高334m、周囲9km、牛が寝(ね)そべているように見えることから臥牛山(がきゅうざん)とも呼ばれています。

約3000年前、海流により運ばれてきた砂が堆積(たいせき)し、函館山と亀田半島は陸続きになり、扇子(せんす)のような形ができました。これを陸繋島(りくけいとう)と言います。一番せまいところで約1kmしかありません。この自然の地形が生み出す山頂からの函館夜景は宝石をちりばめたように光り輝(かがや)き世界一美しいと言われています!

頭はどっちかな?



函館山の自然や動植物

函館山は昭和20年までの約50年間、軍の要塞(ようさい)で立入禁止だったので、すぐそばに街がありながら自然が守られ、600種もの植物を見ることができます。また、「鳥獣(ちようじゅう)保護区特別保護地区」に指定されているため、函館山の草花は1本でも採(と)ることはできません。みんなで豊かな自然を守りましょう。

函館山には渡り鳥を含(ふく)めると150種類の野鳥が見られ、バードウォッチングに最適な場所です。函館山は海峡(かいきよう)に突(つ)き出た形から、野鳥にとっては四季を通じて外敵(がいてき)から身を守りやすく、渡り鳥にとってもちょうど良い休息(きゆうそく)場所になっています。どんな鳴き声が聞こえるかな?耳をすましてみよう!

豊かな自然や昆虫・動物を守ろう! とっていいのは写真だけ、残(のこ)っているのは思い出だけ

山頂広場を探検しよう!

函館山にはどんな発見があるかな?

日時計

日時計は、太陽の光によってできた影(かげ)を利用して、時刻を読み取る装置です。地球の自転により太陽の位置が変わり、時を刻みます。先端(せんたん)の地球儀(ちきゅうぎ)に日が当たっている部分が、今お昼の国です。時間と共に動く影をみて地球が動いていることを君たちも感じてみよう!



♪ ところで「いま何時?」「そうねだいたいね〜」

トーマス・ライト・ブラキストン(1832~1891)

イギリス出身の軍人、貿易商人、探検家、博物学者で幕末から明治期にかけて日本に滞在(たいざい)しました。ブラキストンは、日本の野鳥を研究し、そこから津軽海峡(つがるかいきょう)に動植物分布の境界線があるとみてこれを発表しました。その結果、1883年にこの境界線はブラキストンラインと名付けられました。



探検に出発!

いろんな事に興味があり、挑戦(ちようせん)した人なんですね。君たちもどんなことでもいいから挑戦してみよう!自分の石碑(せきひ)が建つかも?!



砲台跡(ほうだいあと)

1898年(明治31年)から日露戦争に向けて、要塞(ようさい)建設が始まり、函館港や津軽海峡を守るため、大小17の施設(しせつ)が建設され、御殿山(ごてんやま)第二砲台(ほうだい)として口径28cm榴弾砲(りゅうだんぱう)(総重量24ton)6門が据え付けられていた跡(あと)です。2門の台座跡は現在ベンチになっています。2001年には、「函館山と砲台跡」として北海道遺産に選定されました。また現在、展望台などが立ち並び人々にぎわっている山頂にも御殿山第一砲台跡があり、地下には当時の施設がそのまま眠(ねむ)っているといえます。

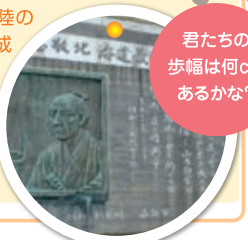
山頂から歩いて約10分のつつじ山駐車場(ちゅうしゃじょう)をさらに奥へ約5分歩いたところにあります。映画「リトルDJ」で太郎(神木隆之介(かみきりゅうのすけ))とたまき(福田麻由子(ふくだまゆこ))が雨宿りで一夜(いちや)を明かした場所だよ!



伊能忠敬(いのうただたか) (1745~1818)

1800年(寛政(かんせい)12年)、伊能忠敬は幕府に北方(とうほう)の地図作りを許(ゆる)してもらい、4月19日に最初の測量地に決めた箱館(1869年から函館に変わる)に入り、箱館山に測量基点を置いて、蝦夷地(えぞち)(現在の北海道)南東沿岸の実測を開始しました。このとき、伊能忠敬は56歳(さい)でした。

出来上がった地図が細かく正確なものには幕府も驚(おどろ)き、関東、奥州(おうしゅう)、北陸の地図の要望を受け、やがて、「日本全図」完成の偉業(いぎょう)へとつながってゆきます。なんと測量の方法は、歩幅(ほはば)が一定になるように訓練し、数人で歩いて歩数の平均値を出し距離(きょり)を計算するというものだった。



君たちの歩幅は何cmあるかな?

函館山の碑(ひ)

函館山に登った記念にここでのおもしろい写真を撮(と)ってみよう!天気良ければ、遠くには頂上がとがった駒ヶ岳(こまがたけ)や知内(しりうち)まで海岸線がきれいに見えます。望遠鏡を使うと良く見えるよ!



ここからは夕日が見えるよ。夜景の時刻までほんやり眺(なが)めるのもいいですよ…。



函館山からの眺めは最高!!



みんなを安全に運ぶよ! ロープウェイについての質問コーナー

Q ワイヤロープは切れたりしないの?

A. 細いワイヤーを何本もたばねてできた太いワイヤーロープなので、全てのワイヤーが一度に切れたりしません。

えい索ロープの断面図 [太さ39mm] 芯(しん)

山ろく麓待合室のロープ標本で確かめてみよう

Q ロープウェイのスピードはどのくらいですか?

A. 秒速7m、時速約25kmで動いています。ゴンドラは、山ろく、山頂間、835mを約3分間で移動します。ゴンドラがすれ違う時、すごく速く見えるのはなぜか考えてみよう。

Q ロープを支える支柱がどうして途中(とちゅう)にないの?

A. 函館山の自然保護や景観(けいかん)をそこなわないように支柱のないシンプルな構造にしました。そのため支柱を通る時の振動(しんどう)がないので、快適に乗車できます。

Q もし停電(ていでん)やモーターが故障したら?

A. モーターの替(か)わりに予備のディーゼルエンジンでロープウェイを動かします。

Q 予備のエンジンでもロープウェイが動かなかったらどうなるの?

A. ゴンドラには救助装置が備えてあり、床下(ゆかした)の脱出口(だつしゅつこう)から地上へ降りることができます。もしもの時にお客様を安全に救助できるよう、毎月訓練しています。